



■ 2017. 7. 24

手術室で緊急避難机上訓練を実施しました。大規模災害発生時に円滑な緊急避難ができるために職員の災害対策習熟度を上げる目的です。

訓練日の実際の手術室稼働情報を活かしながら手術室災害マニュアルに準じて、他集中治療室等の関連部署と共に実施しました。医師・看護師・事務職員らが参加しました。

● 主な訓練内容は—

- ① 当院の手術室は 9 部屋あり、7 部屋で手術中・1 部屋で患者さんの入れ替え中という状況でしたので、この情報を確認しつつ、手術室の危険個所の共通認識。
- ② 避難先の調整・避難順序や経路の決定・避難の実施を机上シートで実施。
- ③ 既存のアクションカードの確認。

● 訓練を実施してイメージできたこと—

- ① 稼働手術数以上に患者さんは増えない。術中の患者さん限定した対応が求められる。
- ② 現場と本部との「避難 or 手術継続」の意思決定判断の加減が難しい。

多くの学びがありました。継続して訓練を実施していきたいと思いました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。